



週間情報



No.2826

発行日 平成28年7月12日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ 消防団体保険加入のご案内

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会（以下「協会」という。）の消防団体保険は、全国の消防職員のための福利厚生制度として、全国の消防職員とそのご家族の皆様だけが加入できる特別な団体保険であり、多くの皆様の職場と日常生活の安心にご利用いただいております。

もしもの時の生命保険から、ケガや病気で入院、手術した際の保障（補償）、さらに業務上の損害賠償を補償するものまで各種の保険を取りそろえており、いずれの保険も団体割引でお手頃な保険料と充実の保障（補償）をご提供しております。

当該保険は毎年2回加入者を募集しておりますが、今回は2回目の募集となり、今年最後の加入のチャンスとなります！

個人保険の見直しをお考えの方や、新たに格安保険への加入をご検討中の方、また、退職後の保険をご心配の方等、この機会に各種保険の保障（補償）内容と保険料をご確認のうえ、消防職員にとって大変有利な協会の団体保険に、是非ご加入下さい！！

1 今回ご案内している主な保険

保険の名称	保険期間	申込書提出締め切り
全国消防グループ保険 (生命保険) 医療費支援制度 医療保障保険	平成28年12月1日～平成29年5月31日	<u>平成28年9月2日</u> (各本部担当者への提出 期日です。)
消防職員医療保険	平成29年1月1日～平成30年1月1日	<u>平成28年8月12日</u> (各本部担当者への提出 期日です。)
消防職員傷害保険		
消防職員賠償責任保険	平成28年10月1日～平成29年4月1日	<u>平成28年8月12日</u> (申込書の送付及びWE B申込入力の日です。)

2 各保険の主な特徴

保険名称	保障（補償）内容	こんな方におすすめ
全国消防グループ 保険（生命保険）	死亡と高度障害及び ケガによる入院を 保障	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格安な保険料の生命保険に加入したい。 ・ もしもの時の保障とケガの入院保障を同時に希望する。 ・ 退職後も継続加入を希望したい。<u>（来年3月末退職予定で、現在未加入の方は今回が加入の最後のチャンスとなります。）</u> ・ 配当金（払戻し）を楽しみたい。 （平成26年度の配当実績 53.964%）
医療費支援制度	ケガと病気の入院を 保障（補償）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生命保険と入院の保障（補償）を一つの保険で契約したい。 ・ 入院の補償を更に充実させたい。 ・ 日帰り入院からの補償がほしい。
医療保障保険		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生命保険と入院の保障を一つの保険で契約したい。 ・ 配当金（払戻し）を楽しみたい。 （平成26年度配当実績 43.256%）
消防職員医療保険	ケガと病気の入院、 手術、葬祭費用を補償 （地震、噴火、津波等によるケガも補償します。）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格安な保険料の医療保険に加入したい。 ・ ケガと病気による入院や手術の補償を希望する。 ・ 先進医療に対する補償が心配
消防職員傷害保険	ケガの通院、入院、 手術、死亡・後遺障害を補償 （地震、噴火、津波等によるケガも補償します。）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケガだけが心配。 ・ ケガの通院・入院等の補償を希望する。 ・ 家族が4人以上で、ケガが心配。 <u>（家族コースがお勧め。）</u> ・ 自転車での賠償が心配。 （セレクトプランがお勧め）
消防職員賠償責任保険	詳細は WEB サイト (http://www.ffaj-shobo.jp) でご確認ください。	

○各保険の詳細につきましては、各本部に送付していますパンフレット又は以下の協会ホームページでご確認ください。【 <http://www.ffaj-shobo.or.jp/hoken/index.html> 】

○本件についてご不明な点等は、各本部の保険事務担当者又は以下の協会担当までお問い合わせください。

【全国消防グループ保険（生命保険）・医療保障保険】

問い合わせ先：業務課

担 当：河野、石井(美)

フリーダイヤル：0120-119-147

電 話：03-3234-1321

【消防職員医療保険・消防職員傷害保険・消防職員賠償責任保険】

問い合わせ先：全国消防保険サービス(株)（協会損害保険取扱代理店）

担 当：妻神、三品、高本

フリーダイヤル：0120-065-988

電 話：03-3234-1331

◆ 消防実務講習会（予防）を開催

一般財団法人全国消防協会東近畿地区支部

一般財団法人全国消防協会東近畿地区支部では、平成28年6月27日（月）は京都府京都市（メルパルク京都及び京都鉄道博物館）、28日（火）は三重県伊賀市（ふるさと会館いが及びモリタ宮田工業株式会社上野事業所）において、予防業務に対する消防職員の見識を深めることを目的として、消防実務講習会を開催しました。

本講習会は、予防業務に従事する職員を対象に、東近畿地区の70の消防本部から、27日は約130名、28日は約100名が参加しました。

講習科目等は、以下のとおりです。

○27日（月）

〈講演〉「最近の予防行政の動向について」

総務省消防庁予防課

設備係長（併）法令係長 四維 栄広 氏

〈講演〉「京都市における民泊指導について」

京都市消防局

違反対策課長 松村 貴史 氏

〈視察〉「京都鉄道博物館の防火管理対策及び消防用設備等の視察」

○28日（火）

〈座学・実証実験〉「パッケージ型自動消火設備スプリネックス 選ばれる消火設備」

モリタ宮田工業株式会社

課長代理 坪田 直也 氏



【実証実験の様子】

消防本部の動き

行事

◆ 少年消防クラブ員が危険物に対する啓発活動を実施

富士宮市消防本部（静岡）

富士宮市消防本部では、平成28年6月7日（火）、岡重株式会社エクスプレス宮原SSにおいて、富丘学童少年消防クラブ員8名が、ガソリンや軽油等の危険物の取り扱いに対する啓発活動を実施しました。

富丘学童少年消防クラブ員は、給油を終えた運転手に対し、「危険物安全週間です。危険物の取り扱いには十分注意してください。」と呼び掛け、危険物の冊子等を配布しました。



【活動の様子】

◆ ショッピングセンターで防火・防災啓発イベントを実施

札幌市消防局（北海道）

札幌市消防局では、平成28年6月18日（土）、厚別区内のショッピングセンター駐車場において、防火・防災啓発イベントを実施しました。

このイベントは、楽しみながら防火や防災、消防業務への理解を深めてもらうため、ショッピングセンターとタイアップし、当市消防局厚別消防署が開催したものです。

会場内には、はしご車の搭乗体験、消火器の取り扱い、煙道通過、子ども用防火衣・救助衣の着体験などのコーナーを設置しました。

当日は、親子連れを中心に多くの方が来場し、イベントを通して防火・防災の重要性や消防業務に対する理解が少しでも得られたことと思います。



【イベントの様子】

◆ 秋田県消防大会が開催

能代山本広域市町村圏組合消防本部（秋田）

平成28年6月18日（土）、公益財団法人日本消防協会秋本敏文会長を招き、県内の消防関係者750名の参加による「第69回秋田県消防大会」が9年ぶりに能代市で開催されました。

この大会は、消防防災の知識の修得並びに消防団員の士気高揚を図ると共に消防関係者相互の緊密な連携により、自治体消防の発展に寄与する事を目的とし、秋田県消防協会が主催し昭和23年から開催されております。

開会の前には、秋本会長、中田潤日本消防協会副会長、泉篤消防長の3名が能代市内にある纏神社に参拝しました。この纏神社は、昭和14年に消防纏が消防団旗に変わり、長年にわたり消防の榮譽を象徴した纏を称え、当市の無火災鎮火守護神として祀る神社であります。



【秋田県消防大会の様子】



【纏神社での記念撮影】

◆ 平成28年水防訓練を実施

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部西消防署では、平成28年6月2日（木）及び3日（金）、水防訓練を実施しました。

この訓練は、梅雨前線による大雨や局地的な集中豪雨等による災害に備え、水防活動時に万全を期すため実施したものです。今年も、消防隊（水防隊）の訓練を地域の自主防災組織の皆さんにも見学していただくことで、地域との連携強化と合わせて、防災・減災の意識向上に取り組むことができました。2日間で100名以上の見学者が訪れ、消防職員の訓練を見学するとともに水防資器材の取り扱いを実際に体験されました。

市民と協働した安全、安心のまちづくりのため、防災意識の高揚が図られ、心から安心を感じていただけた訓練となりました。



【訓練の様子】

◆ 急流救助訓練を実施

恵那市消防本部（岐阜）

恵那市消防本部では、平成28年6月8日（水）及び9日（木）、管内を流れる矢作川において、急流救助訓練を実施しました。

テンションダイアゴナル（川の流れる方向に対して45度以下でテンションを掛けたロープを張り、上流から流れてくる要救助者を助ける方法）の設定、基本泳法、スローバック取扱い、ストレーナー体験等を行い、対岸に要救助者が取り残されたとの想定のもと、ボートによる救出訓練（2ポイントテザーシステム）を実施しました。

今後も様々な状況を想定した訓練を実施し、隊員の技術向上を図ります。



【訓練の様子】

研 修 等

◆ 緊急自動車事故防止研修会を実施

富田林市消防本部（大阪）

富田林市消防本部では、平成28年6月上旬より、緊急自動車の事故防止研修会を開催しています。

この研修では、消防車両の運行に携わる消防職員を対象に、緊急走行を行うために必要となる法令を再認識するとともに、自動車教習所の教習コースで消防車を活用した実走訓練の実施により、走行中の危険予測及び同乗者に対して適正な安全確認を指示することができるよう危機管理能力の向上を目的としています。

今後は、本研修終了者が小隊の管理育成に携わり、一般道路における安全運転技術について指導し、受講した全ての者が自己研鑽できるよう日常訓練を計画しております。

これらの訓練を継続的に行うことで、消防車両の更なる事故防止対策に努めてまいります。



【座学研修の様子】



【教習コースを使った実技訓練の様子】

◆ 危険物安全週間中の立入検査に向けた研修会を開催

島原地域広域市町村圏組合消防本部（長崎）

島原地域広域市町村圏組合消防本部では、平成28年6月1日（水）及び2日（木）、管内の給油取扱所の協力のもと、危険物安全週間中に実施する立入検査に向け、職員に対する研修会を開催しました。

この研修会は、立入検査前の知識の向上、各署統一的な立入検査を実施することを目的に開催したところ、延べ91名の参加がありました。研修内容は、危険物立入検査要領の説明並びにグループワークを行った後、給油取扱所に移動し、実際の施設を見ながら立入検査要領の確認を行いました。



【研修会の様子】



◆ 鉄道災害時の安全対策研修会を開催

豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、平成28年6月23日（木）、兵庫県宝塚市にある阪急電鉄平井車庫において、鉄道災害時の安全対策研修会を実施しました。

この研修会は、平成14年11月にJR西日本東海道本線で発生した人身事故において、救助活動中であった消防職員が後続の列車にはねられ殉職したことを受け、平成15年2月に鉄道機関と消防機関の間において、「鉄道事故時の安全対策に関する覚書」を締結し、軌道敷内で人身事故や火災が発生した場合の通報体制や救助・救出活動時の安全管理体制を確立するために、当消防局が幹事となり、平成16年度から実施しています。

13回目となる今回の研修会には、同電鉄の沿線を管轄する9市2町の消防職員と阪急電鉄の職員合計69名が参加しました。研修内容は、鉄道災害が発生した場合の緊急連絡体制や車両の構造等を学んだほか、救出基本訓練では実車両を使用し、シートを利用した救出訓練及び車両ジャッキアップ訓練を実施しました。



【研修会の様子】

◆ アナウンス講座フォローアップ研修を実施

千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局では、平成28年6月23日（木）及び24日（金）、「話し上手」な消防士の育成を目的に、アナウンス講座フォローアップ研修を実施しました。

この研修は、将来を担う若手消防職員を対象に3月に実施した「アナウンス講座」の文字通り“フォローアップ”です。受講対象者は、前回の受講職員とし、習得したことをさらに実践に使えるよう磨き上げます。前回同様に元NHKアナウンサーの相澤 静さんを講師として招き、3月の内容を踏まえ、表情のトレーニング、「間」の使い方などを伝授していただきました。その後はアナウンスの実践を繰り返し、全員で細かくチェックし、参加者は見違えるように成長し、大変充実した研修となりました。

この職員たちが中心となり、わかりやすく、伝わる消防広報を実践します。



【研修の様子】

◆ 消防団幹部研修を実施

仲多度南部消防組合消防本部（香川）

仲多度南部消防組合消防本部では、平成28年6月26日（日）、当消防本部において、管内2町（琴平町消防団、まんのう町消防団）の分団長以上を対象に消防団幹部研修を実施しました。

この研修は、当消防本部と2町消防団で組織する仲多度南部消防連合会主催で、災害発生時の連携強化を目的とするものです。内容は、当消防本部が計画した、指揮者としての習得しておくべき関係法令、現場指揮要領、安全管理等の座学、また、当消防本部の訓練展示での見取り研修、建物火災及び林野火災を想定した図上指揮訓練です。特に、図上指揮訓練は、総務省消防庁ホームページで公開されている消防団員のための教育用教材（eカレッジ）の動画を参考に、事前に作成したシナリオをもとに、団長の指示を正確に各分団に伝達できるように、トランシーバーを使用し実施しました。

団長、副団長、分団長の皆さんは、訓練を重ねる毎に要領を習得しスムーズな情報伝達ができるようになり、危険情報による団員の退避、規模に応じたの応援要請など、指揮を執る上で重要な項目を再確認できました。



【座学の様子】



【図上指揮訓練の様子】

その他

◆ 救急活動に対する感謝状の贈呈

鎌ヶ谷市消防本部（千葉）

鎌ヶ谷市消防本部では、平成28年6月9日（木）、心肺停止状態となった傷病者に対し、的確な救命活動を実施した3名に対し、感謝状を贈呈しました。

この事案は、4月13日（水）、ゴルフ場で男性客がプレー中、突然意識を失い心肺停止状態となり、その場に居合わせたキャディと従業員、プレーヤーが三位一体となり通報と心肺蘇生法を実施、AEDを使用したことで男性は病院で意識が回復し、見事社会復帰しました。

このゴルフ場はキャディを中心に86名が普通救命講習Ⅱを受講し、クラブハウスとコース内の売店にAEDを設置しており、今回はその救命に対する取り組みが功を奏し、尊い命が救われました。



【贈呈式の様子】

◆ 中学生が防災カードゲーム「ダイレクトロード」に挑戦

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局灘消防署では、平成28年6月20日（月）、管内にある烏帽子中学校の3年生120名を対象に、災害対応シミュレーションゲーム「ダイレクトロード」を実施しました。

このゲームは、南海トラフ地震が発生した直後1時間を疑似体験するなかで、津波から避難を始めるまでの時間内に、仲間と協力して助けられる命を救い出すゲームです。生徒たちは、情報共有の難しさに悪戦苦闘しながらも、新しいタイプの防災研修に臨んでいました。

「ダイレクトロード」は、神戸市消防局灘消防署ホームページからダウンロードできます。

<http://www.city.kobe.lg.jp/safety/fire/firehouse/nada/>



【ダイレクトロードによる研修の様子】

◆ 優良防火対象物認定証&防火対象物適合表示マークの交付式を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁豊島消防署では、平成28年6月27日（月）、サンシャインプリンスホテル（豊島区東池袋）に対し優良防火対象物認定証と防火対象物適合表示マークの同時交付式を行いました。

サンシャインプリンスホテルは、池袋地域で最大規模の客室（1,146室）を有し、「サンシャイン60」、「ワールドインポートマートビル」、「文化会館ビル」とともに構成されるサンシャインシティの中心に位置しています。

優良防火対象物認定表示制度は、法令を遵守し、かつ、防火安全性の向上に自主的に・意欲的に取り組んでいる防火対象物を「優良防火対象物」として認定する制度であり、また、適合表示マークは防火安全に関する基準に適合した宿泊施設に交付されるもので、これらの制度は、防火安全に関する情報を利用者に提供するとともに、利用者の選択を通じて関係者の防火に関する認識の高揚を図り、施設の防火安全体制の確立を促すことを目的としています。

東京消防庁では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を控え、4年後には国内外から多くの観光客を迎えることになり、滞在中に火災等による被害を発生させないため、都民および建物の関係者に対してこの制度の利用を推進しています。当消防署では、今回の認定で、優良防火対象物として9例目、適合表示マークとして2例目となりました。



【交付式の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ ロープ高所作業における危険の防止を図るための労働安全衛生規則の一部を改正する省令等の施行に伴う特別教育の取扱いについて（7月1日、消防消第135号）

消防・救急課長より、各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

平成27年8月5日に、労働安全衛生規則の一部を改正する省令（平成27年厚生労働省令第129号。以下「改正省令」という。）が公布され、安全衛生特別教育規定の一部を改正する告示（平成27年厚生労働省告示第342号。以下「改正告示」という。）が公示されました。このことに関連した消防における特別教育の取扱いについて、下記（省略）のとおり通知いたします。

貴職におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合及び広域連合を含む。以下同じ。）に対して、改正省令の趣旨、内容について周知していただくとともに、各消防本部において「警防活動時等における安全管理マニュアル」及び「訓練時における安全管理マニュアル」（「警防活動時等における安全管理マニュアル及び訓練時における安全管理マニュアルの一部改正について」（平成28年3月31日付け消防消第63号）を参照。）並びに「消防救助操法の基準」（昭和53年消防庁告示第4号）等の内容を踏まえた、適切な訓練及び消防活動の実施並びに安全管理体制の確立に引き続き取り組まれるよう適切な指導及び助言を行っていただきますようお願いいたします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2807/pdf/280701_syou135.pdf) に掲載されています。

◆ 救急の日2016における国民への救急車の適正利用に関する動画の募集について（7月4日、事務連絡）

救急企画室より、各都道府県消防防災主管部（局）長あてに次のとおり事務連絡されましたのでお知らせします。

平素より、救急行政の推進について御理解、御協力いただき御礼申し上げます。

毎年、9月の救急医療週間には、全国の消防機関において、その趣旨にあわせた各種行事を実施していただいています。消防庁においても、厚生労働省等と共同で開催している救急の日のイベントが、今年で23回目となりました。そこで、今年イベントの一つとして、『救急車の適正利用ショートムービーコンテスト』を開催することとしました。

つきましては、国民の皆さまに広く募集を行っておりますので、別紙の募集要項をご参照のうえ、関係機関にご周知いただくとともに、住民からの動画作成に係る協力の依頼等があった場合は、業務に支障のない範囲でご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、募集要項、応募用紙については、下記URLからもダウンロードできます。

URL：http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_5.html

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2807/pdf/280704_jimurenaku.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

救急企画室

担当：森川専門官、勝森係長、足立事務官

◆ 「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について（7月5日、消防救第102号）

消防庁長官より、各都道府県知事あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

救急業務の推進については、かねてより種々御尽力をいただいているところですが、今年度も「救急の日の制定について」（昭和57年7月20日付け消防救第27号）に基づき、救急業務の普及啓発運動を全国的に実施することとしました。

については、貴都道府県内市町村（消防の事務を処理する一部事務組合を含む。）に対してこの旨を周知するとともに、御指導のほどお願いします。

なお、本件については、厚生労働事務次官からも貴職あてに、同趣旨の通知が平成28年6月24日付で発出されていることを申し添えます。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2807/pdf/280705_kyu102.pdf)に掲載されています。

【問い合わせ先】
救急企画室
担当：森川、勝森、足立

報道発表

◆ 平成28年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰（7月4日、消防庁）

平成28年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

安全功労者表彰受賞者 個人24名、団体9団体
消防功労者表彰受賞者 消防団員7名、女性（婦人）防火クラブ員5名

（受賞者名等は、別添（省略）の受賞者名簿に記載されています。）
（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/07/280704_houdou_1.pdf)に掲載されています。

【問い合わせ先】
総務課
担当：篠宮政策評価広報官、高橋係長

情報提供

◆ 平成28年度子ども震ヶ関見学デーの開催（消防庁）

文部科学省主催の「子ども震ヶ関見学デー」が、本年も各府省庁で一斉に開催されます。消防庁においても総務省と共同してブースを開設し、皆様のご来場をお待ちしています。なお、消防庁ブースの実施内容は、次のとおりです。

1. 日時

[1日目] 平成28年7月27日(水) 10時～16時

[2日目] 平成28年7月28日(木) 10時～16時

2. 場所

中央合同庁舎2号館 [地図はこちら (省略)]

「1階アトリウム」及び「北側駐車場(警視庁側)」

3. イベント内容

☆チャレンジ・ザ・ファイヤーファイター

～君はどれだけ消防士に近づけるかな?～

チャレンジ① 地震に負けるな! ～地震の揺れを体験しよう～

チャレンジ② 煙の中を突き進め! ～煙の怖さを感じてみよう～

チャレンジ③ 火事だ!火を消せ! ～消火器を使ってみよう～

チャレンジ④ ケガした人を救え! ～応急たんかを作ってみよう～

☆消防写真館 ～防火衣を着て消防車と写真を撮ろう～

☆防災グッズ・防災パネルの展示

※雨天時：一部イベント内容を変更して実施します。

○ 全文は、消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/html/life/h28kodomo.html>) に掲載されています。

【問い合わせ先】
総務課広報係
担当：菊田、佐々木

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/te1.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ!

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail: weekly@fcj.gr.jp